第13回保育部会研究委員会報告書

浜田市保育連盟会長 山 崎 央 輝			保育部会長 宮本 ゆかり (れんげ保育園)		
開催 日時	令和7年5月27日	開催場所	浜田市総合福祉センター 和室	記録者	河野 理恵 (くもぎ保育園)
	14:00 ~17:00				
出席者	おぐに・うみかぜ・三隅・みのり第2・ひかり・くもぎ			欠席者	1. 無し

協議内容

6園の実践例を持ちより協議する・新年度がスタートし変わった事など

◎テーマ「子どもまんなかの保育を目指して」(0, 1歳に視点を当て)

◎サブテーマ「あたりまえを見直そう」

【前回の課題①自園で頑張っているところ②今後の課題やもう少し頑張っていきたいところについて意見を持ちより協議した】

《A園》

・0歳-5人
・1歳-19人
・2歳-18人

①保育ウェブを作成し月1回の話し合いをする。

・気になる点がある時はその都度話し合いをするようにしてい

・掲示物を貼って保護者への保育の発信をしていることで関心にもつながっている。

②保育者同士の共通理解・玩具の片付け(物を大事にする意識)

について、子どもたちへの関わりの中で見守るが、見放しているようになっないかが課題である。

《B園》

・0.1歳-5人
・2歳-9人

①5月に入り子どもも職員も異動があった。

1歳の前半児は2歳組に入れて保育している。

②保育ウェブを作成してみようかと話している。

・異年齢児との交流がうまくいかない。

・年長児が落ち着かず(給食に1時間以上かかったり、午睡時に走り回ったりする) 解決策を思案中

《C園》

・0歳-4人

・1歳-7人

①活動以外は一緒に過ごしている。

・園庭が狭いので、1歳のよく歩く子は2歳児と一緒に散歩に出かける。

・0, 1歳は狭いスペースが好きなのでそのスペースの保障を思案中。

②おもちゃを置くスペースがないので、子どもがおもちゃを選んで遊んでいない。おもちゃの出しっぱなしは、やはりだらしがないのでは？という意見があり、美化月間を設け保育士も一緒に片付けをする。元に戻す意識を職員全体で共有する。

《D園》

・0歳-3人

・1歳-8人

・2歳-12人

①0, 1歳・2歳と部屋を別にしてしている。0, 1歳を一緒にしたことで、空いた部屋をランチルームにし、給食の準備の先生は決めて運んで貰っている。

・給食を準備の出来た子から食べていたが、いつの間にか一斉にもどり、早い子は待つスタイルに戻ってしまった。(担任が変わるとやり方が変わってしまう)

②2歳児の部屋をコーナー遊びの部屋にしたが、何か落ち着かないよううまく遊びこめない。子どもたちが遊びこめる、コーナーを思案中。

《E園》

・園全体で13人

①主体なのか？わがままなのか？分からなくなる事がある。

・担任が変わると見る視点が変わる。

・全体を朝からオープンにし、年齢関係なく子どもたちは行き来している。

・食事、午睡も一緒・子ども全体を確認しやすい。

②2歳の所在が不明…0, 1歳に付けると幼い気がする、2歳児をどうすることが、より発達を促すことに繋がるかが課題。

・人数が少ないがために、職員が手をかけ過ぎてしまう。

《F園》

・0歳-0人

・1歳-7人

・2歳-16人

①0歳が途中入所になるため、0，1歳は同じ部屋で保育し空いた部屋をコーナー部屋（プレイルーム）にする。

・アタッチメントを意識し、子どもから大人がよく見えるように環境構成を考えていく。

・食事はテーブルに子どもがそろったところから、「いただきます」をし終わった子から片付けをする。（無駄に待たせない）

②0，1，2歳が同じスペースで生活しているのので、コーナーのおもちゃを持ち歩き、見立て遊びのままごと道具なども直ぐにぐちゃぐちゃになってしまう。1日のうちのどこで片付けをするのが正解なのか？分からない。

・環境を考えすぎて、元々のおもちゃの置き場が変わってしまい子どもたちがうまく遊べなくなってきた。

・2歳児、0，1歳児お互いの発達を踏まえてじっくり遊べる部屋の環境構成が課題。

・話し合いが人員不足で十分に出来ない。

・2歳児の作ったものを、0，1歳児がすぐに壊してしまうこと。など…

- ◎4つの柱
- ①生活
 - ②あそび
 - ③異年齢交流
 - ④子どもの姿からの語り合い

この柱を視野に課題の解決に向けて取り組む

次回…6月25日 浜田市総合福祉センター
研修室1